

第5学年 学級活動(3) 指導案

令和8年10月2日(金)5校時

豊見城市立座安小学校 5年1組 5年3組

授業者 森田 千晶(1組) 勝連 美紀(3組)

1 題材名 「ぼく・わたしの成長を見つけよう」(「一学期の反省」※年間指導計画10月)

単元名「ぼく・わたしの半年間の成長を、『ミニプレゼン』で伝えよう」(全10時間)

学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 題材について

(1) 本校児童の実態

本校児童の実態について、昨年度行われた学校評価アンケートの結果から考察すると、質問19「楽しく話したり、遊んだりする仲間がいる」に、肯定的な回答をした児童が97.7%と最も高かった。また、質問7「わかろうとする気持ちをもって授業に参加している」についても、同様の回答をした児童が94.2%だった。この回答結果から、本校の児童の“強み”は、『友達と良好な関係を築くことができ、学習への意欲も高い』ことである、ということがわかった。

一方、質問10「授業では、自分の考えや意見を発表している」について、肯定的な回答は51.5%と最も低かった。また、質問12「読書することは好き」について、同様の回答は71.9%、質問13「家庭学習は、予習や復習をしたり、読書をしたりなど、工夫してやっている」に対する同様の回答も79.6%と、全体的に低いことがわかった。このような回答結果から、本校児童の“課題”は、『授業の中で自己表現することや発信すること、また、読書習慣と家庭学習を計画的に工夫しながら進めることに、何らかの苦手意識をもっている』ということが明らかになった。

ところで、前年度の2学期より、本校は「がじゅまる通知表」というデジタル通知表を使った評価方法を取り入れている。評価の仕方が2通りあり、一つは、単元テストの観点別点数と自己分析(記述式)、もう一つは「生活面の振り返り」(毎月一回)と自己分析を、児童自ら入力してログを蓄積してきた。しかし、入力する場面はあっても、蓄積したものを読み返す場面は設けてこなかった。今年度4月から9月の半年分の記録を夏休み明けから読み比べ始めたが、まだ十分ではない。

この題材では、これまで蓄積したデータログを、子どもたち自身が「読み手」になって、単元テストの点数データと生活面の振り返りデータを掛け合わせて見比べ、比較しながら分析する。このような活動を通して、半年間の自分の変化や成長を発見し、「自分の良さ」や可能性に目を向ける機会をつくり、今後は、自分を振り返る一つの方法として定着させていきたい。

(2) 題材設定の理由

学級活動(3)アは、自己の生活や学習の課題について考え、意思決定して実践することを内容としている。本題材では、本校の年間指導計画「特別活動」に位置付けられている、「1学期の反省」(10月)と関連付けて、がじゅまる通知表に蓄積されたログを手がかりにしながら、自分の1学期間の成長を見つめる学級活動へと再設計した。なお本題材では、過去の振り返りだけを目的とせず、未来の「なりたい自分」へ向けて、今の自分がどうありたいかを意思決定することをねらいの中心に置く。4月に書いたキャリアパスポートの「なりたい自分」を改めて見つめ直し、がじゅまる通知表に蓄積されたログを、その自己決定を支える根拠として活用する。その際、自己決定を助けるのは、友達との話し合いによる気付きである。自分では見えなかった自分の良さを他者の言葉から受け取ることで、自己決定はより確かなものになると考える。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたって、意識しておきたい点が3つある。まず、「数値だけを成長の根拠としない」ことである。生活面の振り返りは、毎月一回、定期的に蓄積されており、テストの点数が伸びていなかったり生活面の総合点数に変化が見られなかったりする児童にも、「自己分析」したときに入力されている言葉が残っている。数値の推移と言葉の変化の両方を読ませることで、児童全員

に発見が生まれることを期待する。次に、「二つの画面を、並べて読ませる」ことである。がじゅまる通知表では、テストの記録と生活の記録は別画面に蓄積され、児童の中でも別々の情報になっている。これを突き合わせて読ませることで、自分について新しい発見を促すことが、情報活用能力を働かせることにつながることを期待する。それから、単元全体を通して、子どもたち同士の話し合いや交流活動を大切にしたい。友達と話し合いながら意見を交わすとき、友達の言葉から自分では気付かなかったことを教えてもらい、自分のもつ新たな一面を発見することがある。このような友達との温かなやり取りを通して、他者の視点を肯定的に受け取り、自己の物事の捉え方や考え方を広げたり深めたりすることができるようになることを期待し、指導を行っていききたい。

3 校内研究および本校の教育DXとの関連

本校の校内研究テーマは、「自分で考え、計画し、行動できる児童の育成」である。それは、児童自ら計画し、自分の学習状況を確認し、自身の学び方を振り返り、次の計画につなげる」という「計画→確認→振り返り→次の計画」のサイクルを子ども自身が回せる力を育むことである。そのため、本校は、この一つのサイクルを、四つの時間スケールで回せるようにしている。

スケール	実装	扱う情報
座安タイム・各単元	自由進度漢字学習・単元内自由進度学習	一教科・一領域の学習記録
学期（毎月）	がじゅまる通知表（毎月の振り返り）	教科横断の学習データ + 生活の振り返り
学期末・年度末	三者ミーティング／成長発表会	蓄積したログ全体を、他者に向けて意味づける
日常	家庭学習	自分の学び方そのもの

本単元は、このうち「学期」スケールのサイクルを回す実践である。スケールが上がるほど扱う情報は増え、教科をまたぎ、他者が関与する。したがって、データを読む（情報活用能力）→自分の課題を見つける（課題発見力）→次の手（学び方）を決めて実行することができるか（問題解決力）が、より強く問われることとなる。この道筋は、そのまま本校の教育DXが目指す資質・能力の育成につながり、本校の“課題”である「自己表現すること」や「読書習慣や家庭学習を計画的に工夫して行うこと」に向き合い、改善を促す手立てになり得るのではないかと考える。

4 第5学年 学級活動（3）の評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能 (③／10時)	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現 (④／10時)	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度 (⑨・⑩／10時)
自分の学習や生活を振り返るには、友達と話し合ったことやこれまで積み重ねてきた記録を手がかりにすることが有効であることを理解し、記録を読み比べる方法を身に付けている。	がじゅまる通知表に積み重ねた記録を読み比べ、友達との話し合いを活かしながら、二学期の「なりたい自分」に向けて、自分に合った取り組み方を意思決定している。	見出した自分の成長や、二学期の「なりたい自分」に向けて意思決定したことを友達や家族に進んで伝え、粘り強く実践しようとしている。

5 事前の指導

児童の活動 (いつ、どこで、何をする)	指導上の留意点	目指す児童の姿
○ がじゅまる通知表を、座安タイムやテスト返却時に入力し分析を行う。（データの積み重ねを続ける） ○ 他教科で、データの分析する際、「考えるための技法」を活用する。 ※「考えるための技法」は、「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」p 84より活用	○ がじゅまる通知表のデータを分析するとき、児童と保護者にとつたアンケート結果を提示する。 ○ 一学期の学習や学校生活を振り返るとともに、自分の変化や成長に目を向けて、「どうして変化・成長できたのか」考えるようにする。	◎ データをもとに読み取った自分の変化や成長から、自分の良さや可能性を見出している。

6 単元計画（全 10 時間）

時	領域	学習活動
①	国語	発表会を年 2 回行うことを知る。「中間発表」として発表する内容の見通しをもつ。
②	総合	がじゅまる通知表のログを活用して、1 学期の学習や生活を振り返る。
③	特活(3)ア	【本時】キャリアパスポートや資料（データ）などから、1 学期の自分を振り返る。
④	特活(3)ア	【本時】1 学期の自分を振り返り、2 学期に頑張ることを決める。
⑤⑥	総合	根拠となる資料をつくる（スライド・ポスター・作文など各自で決める）
⑦	国語	資料をもとに、スピーチメモを書く。
⑧	国語	メモをもとに、スピーチの練習をする。
⑨⑩	特活(3)ア	「ぼく・わたしの成長ミニプレゼン会」～ ④で決めたことを他者に表明し、実践を継続する。

7 本時の活動（2 時間計画）

(1) ねらい（1 / 2 時）

1 学期を振り返って「なりたい自分」にどれだけ近づけたか知り、自分の変化や成長に気付く。

(2) 授業の工夫・手立て ※ICT(1 人 1 台端末)等の活用も含む。

- ① 1 学期で「どんなことを頑張ったのか」「どんなことができるようになったのか」を、がじゅまる通知表のデータや話し合いなどを通して振り返りながら、自分の成長を実感できるようにする。
- ② キャリアパスポートやがじゅまる通知表ログの蓄積が、自分の成長を振り返る「情報」となることを知り、活用することを通して、それらの有用性を実感できるようにする。

(3) 展開（1 / 2 時）

過程	児童(生徒)の活動	指導上の留意点・資料（★）等	目指す児童(生徒)の姿(◎) 【評価の観点】 (評価方法)
導入 (5) 分	つかむ 1 半年間に自分が入力した記録を、全て開いた状態にしておく。 ・テストの点数と自己分析（単元テスト後） ・生活面の振り返り（毎月 1 回・6 回分） 2 4 月に書いたキャリアパスポートの「なりたい自分」について、どのようなことを書いたか振り返る。	◇前時に行った「がじゅまる通知表」ログのまとめを想起させる。 ◇キャリアパスポートの記述と、アンケートの結果を提示し、「なりたい自分」と「なりたい自分に近づけているか」との意識とのズレをつかみ、課題意識をもたせる。	
【めあて】「なりたい自分」にどれだけ近づけたか、一学期に頑張ったことを振り返って確かめよう。			

展開 (30) 分	さぐる 3 1学期にあった、主な出来事について話し合う。 4「なりたい自分」に、どれだけ近づけたか振り返る。 ・学習面 ・生活面 ・当番や係 ・学級活動（行事） それぞれの視点から、必要に応じてペアで話し合いながら考える。 見つける 5 席を移動し、友達同士で「どんなことをどのように頑張ってきたか」話し合いながら振り返る。 6 全体でそれぞれの頑張りを共有する。	◇資料（写真など）を提示し、具体的な出来事を想起する手助けをする。 ◇学習面・生活面の振り返りには、がじゅまる通知表のデータログを活用し、自身の変化を振り返る。 ・数値の推移（点数） ・言葉の変化 （自己分析・振り返りの記述） ◇成長や変化は、数値の上昇に限らないことを、必要に応じて伝える。 ◇画面を見せて交流する・しない、は、子どもたちが自由に選べるようにし、データを見られたくない子に配慮できるようにする。 ◇話し合いながら、それぞれの視点について頑張ったことを、子どもたちに板書してもらう。 ◇全体で共有し、良さを伝え合えるようにする。実際に頑張った子に、その時頑張ったことについて「どのように頑張ったのか」を全体で共有する。	【知識・技能】 ・自分の学習や生活を振り返るには、友達と話し合ったことやこれまで積み重ねてきた記録を手がかりにすることが有効であることを理解し、記録を読み比べる方法を身に付けている。 （ワークシート・発言）
終末 (10) 分	決める 7 話し合ったことをもとに、「1学期頑張ったこと・できたことはどのようなことだったか」を振り返り、ワークシートに書く。 8 その頑張りを、2学期のどこで活かそうか一つ決める。 ※数名が発表し、次時への見通しをもつ。	◇「頑張ってできるようになってきたこと」に目を向けるようにする。 ◇子どもたちの取り組む姿勢やデータの活用方法で、良かったところを教師または数名の子どもに紹介してもらい、次時の活動につなげる。	

(4) 板書計画（1／2時）

1学期の反省 めあて「なりたい自分」にどれだけ近づけたか、一学期に頑張ったことを振り返って確かめよう。

つかむ

☆キャリアパスポート
4月に考えた「なりたい自分」
・
・
どのくらいできている？
・とても ・まあまあ
・もうすこし

◎一学期頑張ったことを
振り返ろう！

さぐる

1 学習

2 生活

3 当番や係

4 学級活動（行事）

できたことを振り返ろう

を見つける

☆どんなことを頑張ってきた？

①学習

②生活

③当番や係

④学級活動・行事

★みんなで ★協力して ★チャレンジ

決める

☆二学期活かそうなことを

(1) ねらい（2／2時）

1学期の自分を振り返り、これまでの経験を2学期で活かすことができるようにする。

(2) 授業の工夫・手立て ※ICT(1人1台端末)等の活用も含む。

①2学期にどのようなことに取り組むと良いのか、具体的にイメージできるよう、6年生の先輩にインタビューした動画を手がかりにする。

②キャリアパスポートやがじゅまる通知表ログの蓄積が、自分の成長を振り返る「情報」となることを知り、活用することを通して、それらの有用性を実感できるようにする。

(3) 展開（2／2時）

過程	児童(生徒)の活動	指導上の留意点・資料(★)等	目指す児童(生徒)の姿(◎) 【評価の観点】 (評価方法)
導入 (5分)	つかむ 1 半年間に自分が入力した記録を、全て開いた状態にしておく。 ・テストの点数と自己分析（単元テスト後） ・生活面の振り返り（毎月1回・6回分） 2 2学期は、どのような行事や出来事が自分たちを待っているのか、話し合って予想する。	◇前時の活動内容を振り返り、「一学期頑張ったこと」を想起させる。 ◇2学期過ごしたその先には、最高学年である6年生としての活躍が待っていることを見通し、2学期の自分をレベルアップさせ、頑張るように意識づける。	
【めあて】2学期「なりたい自分」へ向けて、頑張ることを決めよう。			

展 開 (30) 分	さぐる 3 6年生は、5年生の2学期をどのように過ごしていたのか、「6年生へのインタビュー」動画を観る。 4 6年生は、どんなことを・どのような工夫をして取り組んでいたか話し合う。 ・学習面 ・生活面 ・当番や係 ・学級活動（行事） ※それぞれの視点から、必要に応じてペアやグループで話し合いながら考える。 見つける 5 話し合ったことをもとに、2学期「どんな5年生になりたいか」話し合う。 ・学習面 ・生活面 ・当番や係 ・学級活動（行事） ※「なりたい5年生」になるために、どのようなことができるのか見つけられるよう、ペアやグループなどで交流し話し合う。	◇6年生へのインタビュー動画を提示し、2学期への具体的な取り組みをイメージさせる。 ★「6年生にインタビュー」動画 ◇6年生の先輩たちの動画をヒントにしながら、6年生の良さを見つけていくようにさせる。 ◇どんなことを・どのように意識（工夫）して取り組んだのか、自分たちとの違いについて考えさせ、4つの視点における大切なポイントを確認する。 ◇話し合ったことを、子どもたち各々で板書し、共有できるようにする。 ◇今の自分たちを振り返りながら、6年生の動画をヒントに、どのようなことができるのか、ペアやグループで互いの考えを出し合う。 ◇話し合ったことを、子どもたち各々で板書し、共有できるようにする。	【思考・判断・表現】 ・蓄積した記録や、話し合いを通して、2学期「なりたい自分の姿」を考え、なりたい姿に近づくための具体的な取り組み方を意思決定しているか。 （ワークシート・発言・発表など）
終 末 (10) 分	決める 6 話し合ったことをもとに、 ・2学期「なりたい自分」 ・なりたい自分に近づけるよう、「今」頑張ること を考え、ワークシートに書く。 7 今日の授業を振り返る。 ※子どもたち数名に、振り返ったことを紹介してもらう。	◇書き終わった人同士で交流し、応援メッセージを書いてもらう。 ◇「がじゅまる通知表」のデータを見直しながら、なりたい自分について考え・話し合わせる。 ◇一学期、子どもたちそれぞれが頑張ってきたことを価値づける。その上で、2学期「なりたい自分」に近づけるように「今」頑張るを決めたことを実践できるよう、意識をもたせる。	

(4) 板書計画

めあて 二学期「なりたい自分」へ向けて、頑張ることを決めよう。			
1 学期の反省			
つかむ	さぐる	見つける	決める
★一学期頑張ったこと ・ ・ ↓	★6年生にインタビュー ①学習 ②生活 ③当番や係・委員会 ④学級活動・行事	★どんな5年生になりたい？ ①学習 ②生活 ③当番や係・委員会 ④学級活動・行事	★「なりたい自分」に向けて頑張ること ・ ・ ・ ・
二学期へ向けて、さらにレベルアップ！			
◎二学期「なりたい自分」に向けて、どんなことをどのように頑張る？			

8 事後の活動

児童(生徒)の活動 (いつ、どこで、何をする)	指導上の留意点	目指す児童(生徒)の姿(◎) 【評価の観点】 (評価方法)
○座安タイムに、がじゅまる通知表や毎月の振り返りについて入力し、前のデータと比較しながら自己分析を行う。 ○友達同士で交流し、データの分析方法についていろいろな見方・やり方を試せるようにする。 ○発表するための資料・原稿などを準備し、「成長発表会」を学級で行った後は、家庭でも同様の発表を行い、その様子を動画に撮影してもらう。	○座安タイムを通して、継続した実践・分析ができるようにしたり、必要に応じて教師からコメントや言葉によるフィードバックを行ったりして、児童のみの活動や、入力「させっぱなし」にならないよう支援する。 ○学期末または連休など、家庭に持ち帰って記録を家の人たちとも共有し、学校・家庭両方で、児童の励ましや支援を継続して行うようにする。	◎友達と励まし合いながら、見出した自分の成長したところや自身の可能性に目を向け続け、意思決定した目標に粘り強く取り組み、これからの自分に必要なことを適切に判断しながら、進んで実践している。 【主体的に生活や人間関係をよりよくしていこうとする態度】 (観察・がじゅまる通知表の自己分析記述)

<参考文献>

- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別活動編」(平成 29 年 7 月)
- ・文部科学省「小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」(平成 29 年 7 月)
- ・国立教育政策研究所「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」
- ・株式会社文溪堂「楽しい学校生活 5 年 教師用指導書」
- ・浦添市立仲西小学校「令和 4 年度沖縄県教育委員会研究指定校『発達の支援』研究実践報告書 第 5 学年 学級活動(1)(2)(3) 板書型実践イメージ資料集」
- ・文部科学省「効果的な教育データ利活用に向けた推進方策について」
- ・令和 7 年度版「自立した学習者」育成プロジェクト
- ・沖縄県キャリア教育の基本方針
- ・豊見城市教育ビジョン 2024～2026